

シドニー日本クラブ
第 489 号

JCS だより

11 月号
2026



日本の祭りは12月6日(日)開催！

JCS会長10月の活動日記

江戸めがね「最後はどうなるのか」

キネマ倶楽部◎ザ・ホエール

バイクおばちゃんが行く！（その6）

日本の踊りのワークショップ開催

理事会から

●2026年10月定例理事会 10月7日(水) 7pm-9pm (zoom)

渡部、リヒター、コステロ、林、斉藤、多田、飯島、松隈、マーン、阿部、原、チョーカー、神田領事。(欠席)水越、ホジュキンソン、葛西、堀場。

●会員世帯数:339世帯(一般会員63世帯、学校会員276世帯)

●次回理事会:11月4日(水) 7:00pmより (zoom)

◆チャットウッド日本祭り(9月14日)総括

○オープニングセレモニーで、鏡割りの準備や法被の受け渡しは、VIPが着席される前に済ませる。

○ボランティア:設営時に担当理事を配置し、作業の進行を監督・指示する。休憩時間は持ち場に戻らず、各自で休憩を取ることとする。各担当理事が周知する。

○JCSのブース/金魚・ヨーヨー:支払いとゲーム対応が重なって混雑のため、今回は分けて運営する。

○ワークショップ:ボランティアが金銭の受け渡しを行わないことを事前に周知する。

◆カウラバスツアー報告

カウラ桜祭り & カウラ戦没者墓地での追悼式典に渡部会長が参加した。

◆総領事館関係

神田領事から、「当地の治安情勢」、「Oscoを使用した詐欺」、「在留状況の調査」について説明があった。

◆学校関係

●シティ校:15クラス、生徒数197名、140世帯

9月8日のMinister's Awards授賞式では、シニアの部で、ワトソン杏仁果さんがHighly Commendedを受賞、ジュニアの部は、富岡カレンさんがMeritを受賞しました。9月12日、幼児部2クラスとあんみつ組のスピーチ発表会に保護者を招待して行いました。3学期最終日には、Community Language SchoolsのAlex氏が視察に来校。クラス周りをして授業の様子や教材の確認などをされ、意見交換を行いました。JCS共催のスピーチフェスティバルにシティ校から5名の生徒が出場。10月17日から4学期が始まりますが、新入生のためのオープンデー開催やクラス編成、運営委員・係の選出を行い準備を整えます。引き続き安全第一に子ども達が楽しく学べる環境づくりをしていきたいと思っています。

●ダンドラス校:11クラス、生徒数143名、98世帯

江尻翔くんがMinister's AwardsのCommended Awardを受賞し、9月8日の授賞式にご家族で出席しました。また、倉田エマノエルさんがMerit Awardを受賞しました。

9月は一大イベントの運動会を開催。競技に一生懸命に取り組む生徒たちの姿が見られ、心打たれました。イベント係を中心に、役員・先生方・保護者のご協力のもと、生徒たちにとって思い出に残る一日になったと思います。一方で、競技中の応援や休憩時間の過ごし方など、運営面でいくつか課題も見られました。運動会当日から学生ボランティア13名が参加し、生徒たちを盛り上げるだけでなく、初日から役員のサポートにも積極的に協力してくれました。9月25日の3学期最終日より、毎週各クラスに入り、ボランティアとして活動していく予定です。



4学期は、校内発表会や先生・役員によるクラス編成会議などがあります。先生方・役員・保護者で協力しながら、生徒たちが楽しく充実した学校生活を送れるよう努めていきたいと思います。4学期も、生徒たちが元気な姿で登校してくれることを楽しみにしています。

●エッジクリフ校:5クラス、生徒数52名、38世帯

3学期も終わり春休みに入りました。3学期はMinister's Awardsで、本田健一郎くんがCommended Awardを受賞しました。また、運動会では「笑って、走って、最高の一日」をスローガンに、子どもたちが懸命に新しい競技に挑戦し、楽しい一日を過ごしました。毎年、アイデアを出し合い、試行錯誤を重ねながら、保護者の皆さんとスタッフが協力して、より楽しい運動会を作ってきました。

4学期は新しい先生による授業体制となります。4学期は8週のみですが、特に終業日のお楽しみ会に向けて、最後まで先生・運営委員・ボランティア・保護者が協力して、充実した学校運営を行なっていきます。

◆12月の日本の祭り

日時:12月6日(日)

場所:Wentworth Park Sporting Complex

今年も金魚・ヨーヨー、着物のブースの出店をする。担当理事:ホジュキンソン(着物)、コステロ(着物)、渡部(金魚)、松隈(金魚)、マーン(金魚・ボランティア)

祭り運営スタッフ:水越、リヒター、チョーカー、多田(ステージ)、飯島(ステージ)、葛西(写真)、斉藤(折り紙)

◆2027年年間行事について

2027年の対面理事会は、2月、6月、7月、8月、9月、12月に開催する。

1月下旬(土)或いは2月上旬(日)親睦の会新年会

7月4日(日)JCSフェイト

8月21日(土)JCS年次総会 3:00pm-4:00pm

9月12日(日)チャットウッド日本祭り

JCSの忘年会・新年会の開催形式やあり方については、会長・副会長で検討し、11月の理事会で検討する。

◆その他

熊本地震被災地支援で集まった義援金は、松隈が1月熊本県庁へ届ける予定。

JCSのクラブライフ



シドニーソーラン踊り隊

毎週土曜日に小学校の体育館で練習をしています。

私たちの踊りが少しでも日豪文化交流に結びつくようにと様々なイベントで踊ります。一緒に踊りたい方、大歓迎！お気軽に練習にご参加ください。

練習日：毎週土曜日2時～3時

場所：Cammeray Public School (Palmer Street, Cammeray)

お問い合わせは、Email: jcs.soran@gmail.com まで。

<http://sydneysoran.wix.com/dancetroupe>



JCSフラアロハ 笑顔で踊るハワイアンダンス

体を動かす気持ち良さを感じながら、人と人との触れ合いを大切に、明るく楽しく美しく、健康第一をモットーに和気あいあいと踊っています。毎年数回のパフォーマンスでは思い切りオシャレなハワイアンスタイルで笑顔で踊ります。

ご参加されませんか？

練習は毎週火曜日11時～12時30分 Chatswoodで行っています。お問合せは、Email: jcshulaaloha@gmail.com

フラアロハ事務局までお気軽にどうぞ。



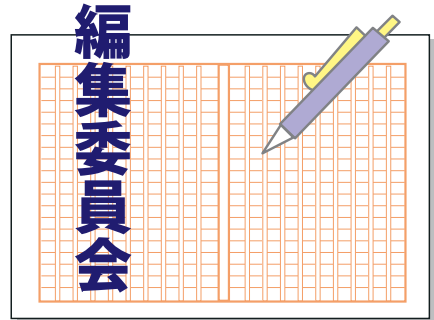
JCSソフトボール部

ソフトボール大会は毎年5月と11月の2回開催しています。2024年秋季2位、春季優勝。2025年秋季(中止)、春季優勝！

JCSソフトボール部では女性選手を急募中です！一緒に優勝目指しませんか？家族で応援に来ませんか？興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール: adasada@hotmail.com または、

電話: 0402-048-570 (ソフトボール部部长 ^{さだのり} 安達定儀)



編集委員会

シドニー日本クラブの会報誌「JCSだより」を編集しています。会員からの投稿をお待ちしています。

また、誌面作りに興味のある方、一緒に会報誌を作りませんか？

興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール: k.murn@jcs.org.au (JCSだより編集長 マーン薫)



教育支援委員会

シドニー日本クラブの日本語学校三校の運営に関する支援を行っています。その他、継承日本語教育についてのセミナー活動なども行っています。

お問い合わせは、以下までお願いします。

メール: jcs@japanclubofsydney.org または、

電話: 0421-776-052 (JCS事務局)

親睦の会 だより

会員
募集

シドニー日本クラブ会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、和食弁当を食べながらの情報交換後には、様々な趣向を凝らした内容で楽しんでいます。遠足や野外活動も行っています。

JCSシドニー日本クラブの会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジター也大歓迎です。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

親睦の会役員 会長：飯島浩樹／事務局長：岩崎麻由／会計：長谷川潔／ボランティア：斉藤なお子、なかのあやこ、サザーランド紀子

■朗読の会『声』公演、感動のひとつに —10月17日(土)—

10年以上前に発足し、しばらくの休会期間を経て今年から活動を再開した朗読の会『声』。その再始動を記念した朗読会が、10月17日(土)、チャッツウッドの会場で「親睦の会」主催により開催されました。

演目は、宮沢賢治の名作『注文の多い料理店』や星新一の『新発明のマクラ』など。そして、今回特別ゲストとして宮沢賢治賞を受賞されているシドニー在住の作家・演出家・映画監督、ロジャー・パレバース氏が特別ゲストとして来場されました。

メンバーたちの熱のこもった朗読に、参加者は時折笑いをこぼしながら聞き入りました。独特のユーモアと幻想的な世界観を持つ賢治の物語が、シドニーの地で日本語の声によって生き生きとよみがえるそのひとは、言葉の力をあらためて感じさせてくれるものでした。

朗読を聴き終えたパレバース氏は、「賢治の名作がここシドニーで蘇った。賢治もきっと喜んでいることでしょう」と温かいコメントを寄せてくださいました。その言葉に、会場からは自然と拍手が湧き起こりました。



熱のこもった朗読を披露するメンバー

朗読会の後はお茶とお菓子が振る舞われ、参加者同士が感想を語り合う和やかなひとときが続きました。朗読の会『声』の今後の活躍が、ますます楽しみです。

■親睦の会 忘年会のご案内

今年も忘年会を開催いたします！1年の締めくくりに、皆さんとともに笑顔で乾杯しましょう。

【日時】2026年11月13日(金)午後5時～

【会場】Chatswood RSL Club Bistro (Corner Area)

<https://www.chatswoodrsl.com.au>

【参加費】当日はビストロにて各自お好みの飲食をご注文ください。

会費は不要ですが、会場の都合により出欠を事務局までお知らせください。

■ボランティア・新規会員を随時募集しています！

「親睦の会」では、イベントの運営をお手伝いいただけるボランティアを随時募集しています。

入会・ボランティア・活動についてのお問い合わせは、親睦の会事務局(岩崎) shinbokunokai25@gmail.com までお気軽にご連絡ください。



朗読後、メンバーに感想を語るロジャー・パレバース氏(左)



朗読の会『声』の公演に集まった参加者の皆さん

総領事館からのお知らせ

※在シドニー日本総領事館からのメールマガジンの抜粋です。総領事館からメールマガジンが発信されていますので、こまめに最新情報を得るようにしてください。

当地治安情勢

○今後、夏に向けて観光シーズンとなり、シドニー中心部および周辺地域への観光客等の増加に伴い、一般犯罪の発生率が高くなる可能性がある。

○警察によると、シドニー市内では薬物犯罪の摘発が増加しており、繁華街やその周辺地域において薬物が蔓延している可能性がある。大麻については、青臭い草のような匂いがするため、周囲に緑や芝生がないにもかかわらず、そのような匂いがする場合には注意する。

テロの脅威

○昨年のボンダイビーチでのテロ事件以降、警察は多数の捜査員を投入して捜査を継続している。

○事件以降、新たなテロ事件は発生していないものの、水面下ではさまざまな動きがあり、NSW州警察が対応している。引き続き、新たなテロ事件の潜在的な脅威が存在すると考えられている。

○反ユダヤ主義を掲げる個人や団体が活動する会場や地域、特にシナゴグやユダヤ関連のイベントには近づかないよう注意する。

即時送金サービス「Osco」を使用した詐欺

○8月27日の領事メールでも案内されているが、邦人の家族を装い、「携帯電話が水没して使用できないため、他人の携帯電話から連絡している」としてテキストメッセージを送り、送金を要求する手口が発生している。

○緊急の場合であっても、十分な確認を行わないまま高額な電子送金をしないよう注意する。家族を装った詐欺への対策として、あらかじめ家族間でキーワードを決めておくことが有効であり、連絡してきた相手にキーワードを送って回答を求めるなどの確認方法が考えられる。

在留状況の調査(毎年10月1日付で実施)

○外務省では、在留届に基づき、海外に在留する邦人の在留状況について、毎年10月1日付で調査を実施している。

○在留届には在留期間を登録する項目があり、当初登録した期間を経過している場合には、「外務省からのお知らせ」として在留状況を確認するメールが送信される。在留期限が経過している登録者には、9月1日および9月22日にメールが送信されている。

○転居や携帯電話番号の変更など、当初の在留届の登録内容から変更が生じている場合には、オンライン在留届のサイトから登録内容を確認し、必要に応じて修正するよう案内があった。

総領事館等の職員を名乗る不審電話への注意喚起

ニューサウスウェールズ(NSW)州で総領事館や大使館の職員を名乗り、「警察の公文書が届いているので、大使館・総領事館に来てください」などと告げる不審電話がかかってくる。詐欺等の可能性も考えられますので、十分にご注意ください。

(1)不審電話を受けた際の対応

・現在、総領事館からお呼び出しはしていません。不審に感じた場合は、在シドニー総領事館の公式HPで連絡先を確認の上、直接お問い合わせください。

・電話の相手に対し、氏名、住所、旅券番号、銀行口座等の個人情報を伝えないでください。

・電話口で指定口座への金銭の振り込みや、電子マネーの購入等を求めることはありません。電話口で指示された送金手続きは絶対に応じないでください。

・相手から指示された電話番号や架電のあった電話番号へは折り返さないでください。

(2)不審電話等に関する情報提供・相談先

不審電話を受けた場合には、①着信日時、②相手の氏名、③電話の内容、④表示された電話番号等を可能な範囲で記録し、当館への連絡に併せて、豪州政府の詐欺通報窓口「Scamwatch」への情報提供をご検討ください。

Scamwatch:

<https://www.scamwatch.gov.au/report-a-scam>

精神科医療の専門家による無料相談窓口のご案内

精神科医療の専門家と提携し、無料で相談に応じる取り組みを行っています。以下のようなお悩みをお持ちで、相談を希望される方は、当館(cgryoji@sy.mofa.go.jp)までメールでご連絡ください。

○主な相談事項

・DV被害者支援(配偶者やパートナー等から様々な被害(DV等)をうけていると感じている等)

・その他日常生活上のお悩みや不安など

○相談方法:相談のメールを送付する際には、①氏名、②生年月日、③電話番号、④メールアドレス、⑤お悩み事の内容(簡単な説明)をご記入ください。精神科医療の専門家から、記入された連絡先に連絡します。

○注意事項:この相談窓口におけるサービスは心理的なサポートや情報の提供を行うものであり、診断・治療を目的とするものではありません。予めご理解いただけますようお願いいたします。

CLS視察を終えて

三学期最終日、9月19日にCLSコミュニティーランゲージスクール(Education officer)であるAlexさんがシティ校の視察に来られました。視察ではシティ校の各種資料をご案内させていただき、実際にクラスを見ていただいたり、使用している教科書やドリル、教材などもご覧になっていただきました。また、コミュニティーランゲージスクールとして使用できそうな各種リソースをご紹介していただけるとのお話も頂くことができたほか、実際に現場で困っていることはないか?などのヒアリングのお時間も頂くことができました。

また、シティ校の特色の一つでもある特別支援クラスを見学された際にAlexさんは特に高い関心を示されていらっしゃいました。ニーズの多様化している教育現場ですが、今後もコミュニティーランゲージスクールとしてCLSや教育省との連携を深め、常に情報をアップデートしながら学校運営を進めていく必要性を改めて感じた今回の視察でした。

クラス紹介 くるみもち組



くるみもち組に集った子供たちは、年齢が6歳～8歳の14名の子供たちです。男の子7名、女の子7名と、みんなとても仲のいい元気な子供たちです。1年から2年、シティ校で一緒に学んだ子供たちですので、授業に向かう姿勢は大変落ち着いていて自分の意見を発表したい時は、「はい」と手を挙げ、お友達の発表にはきちんと耳を傾けて聞き、順番を待って活動できる素敵な子供たちです。特に、お友達への心遣いは、「おはよう」「またね」の元気な挨拶に加え、「だいじょうぶ?」や「いっしょにいこう」「まってあげるね」などの言葉が自然と使えていて、クラス全体が穏やかな雰囲気に包まれています。

日本語学習においては、一学期から小学1年生の国語上の教科書に沿って、1年間で一冊の内容を学習していきます。一学期は、沢山の日本語の語彙を学んできた子供たちが、毎週ひらがな2文字の言葉小テストで全問正解に向け徐々に意欲を高めて取り組みました。そして、大好きな工作やゲーム、歌を取り入れて学ぶ日本の季節の行事「節分」「ひなまつり」では、自分のアイデアをプ

ラした素敵な作品を完成させました。特に「節分」の豆まきゲームでは、鬼に向かって「おには、そと!」と勇ましい声をあげて玉を投げ、1年の厄を追い払う勢いでした。

二学期は、カタカナの復習と、「は・を・へ」を使って文章の読み書きに力を入れて取り組みました。特に、自分の言葉で身近なことを書いて人に伝えることができるように、「ぼく・わたしのうち」「おかあさんの一日」「かぞく・わたくしのおみせやさん」など、子供たちの歌や工作を取り入れて文をつくることに興味を持たせたり、絵を描いて話したい内容の補足をして、日本語で表現する短文を書く教材を取り入れました。そして、自分の考えを人に伝える楽しさを感じていき、文を書くことに慣れ、積極的に発表までできるようになっていきました。特に「ぼく・わたしのおみせやさん」では、子供たちの好きなことや好きなものが自然と表現され、将来の夢や未来の予想図を描いて話してくれていました。



そして三学期には、自分の好きなこと、好きなものについて文を書き、発表の機会を経験しました。これは、自分の話したいことを日本語で正しく書き、読む練習を繰り返し行うことで、日本語での表現に自信を持ち、お友達の話を理解し交流を深めるという素晴らしい経緯で、子供たちに大きな成長をもたらしたと言えます。このスピーチ発表会後の子供たちの笑顔を多くのご父兄が感慨深く見つめておられたと思います。

その後の授業では、「おおきなかぶ」の物語の劇を配役を決め演じました。それぞれが役になりきりセリフを考えて言ったり、演じたり、ナレーターと監督(進行)を児童が行い、最後まで子供たち自身で劇を作り上げるという素晴らしい取り組みができました。また、トマトの水耕栽培を取り入れて記録を書くことにも挑んでいます。授業中に種を植えて各家庭に持ち帰り、毎週誰かが種の成長の写真を届けてくれて、みんなで共有して成長記録を書くという活動です。春休みには継続して家庭で植物の成長を見守り、四学期に経過の報告をしてトマトが収穫できるまでの経験をクラスで共有できればと考えています。

このように1年間のくるみもち組での子供たちの学習と経験が、日本大好き、日本語大好き、日本文化が素敵と、子供たち自身が自主的に学びを深めていき、将来、素敵な学びの場があったと振り返って思い出せる貴重な時間にしていきたいと思います。(担任:大川麻美)



JCS日本語学校ダングス校 JCS Japanese School Dundas

学校 Dundas Public School (85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)

連絡先 PO Box 1072, Dundas, NSW 2117 授業 毎週土曜日/9:30~12:15

Email jcs-jpschdundas@live.com Web <http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html>

クラス紹介 たんぽぽ組



今年のたんぽぽ組は、Y3～Y4の男子8名、女子7名、計15名の生徒からなるクラスで構成されています。授業では、「こくご二年上・下」の二冊の教科書を中心に「声に出して読むこと」に力を入れて授業を進めています。子ども達は、宿題として導入している「教科書音読カード」「漢字音読カード」の二種類を毎週の家庭学習に取り込み、親子でしっかりと取り組んでもらっています。

一学期は、一年生の学習内容(かん字・ひらがな、カタカナ)の復習を中心に授業を進めてきました。主な行事は、かざぐるま組との書道の合同授業です。昨年、担任をしていただいた宮本恭子先生の御指導のもと、子ども達は一生懸命に腕を使って半紙の上に大きく筆を運び「花」という字を清書しました。

二学期、三学期には、国語の教科書以外にも算数や社会の教科も導入し、物の重さや長さの単位、日本の学校給食や地図を用いての特産物や物流などを学習しました。主な行事は、①「母の日」に併せての作文発表。子ども達が初めて書いた長い作文に、お母様方の目からはきらりと光るものが溢れていました。②調理実習(9月5日)。材料を計るところから全て一から作る「手打ちうどん」に挑戦しました。様々な形や長さの麺が出来上がりましたが、いずれも大変美味しく出来上がり、みんなで完食



をしました。③「敬老の日」に併せてのお手紙書き。9月21日の敬老の日に合わせて、日本のおじいちゃん、おばあちゃんにそれぞれの想いを込めたお手紙を出しました。海外に住む孫から届いたお手紙に、とても喜んでくれた…とご報告を受けました。通常の教科書やドリルに沿

った新出漢字を学習するだけでもとても大変なことでありますが、子ども達は、同時進行でこれらの行事を全てやり遂げてくれました。そして、④運動会(9月19日)です。当日は、お天気にも恵まれ、開校以来初の白組優勝！それはそれは思い出に残る、大興奮の運動会でした。



さて、今学期の主な行事は、校内発表会と年賀状書きです。年賀状書きでは、絵葉書を年賀状として日本の家族に宛てて送付します。もちろん、ハガキの書き方や干支の学習も含まれます。教科書も終盤を迎え、「スーホの白い馬」がメインとなります。色々な復習問題を取り入れながら、この一年で学習したことをまとめ、校内発表の準備、練習を進めていく予定です。

クラス運営に関しては、この「たんぽぽ組」では、「お小遣い制度」を導入し、クラスの決まり事を始め、「誰かの役に立つこと。今、自分にできることは何か？」を念頭に自ら進んで学習する制度を設けています。「たんぽぽ組」独自のお金を貯めることで、報酬として「ホリデー中の宿題無し」の特典を得たり、「お菓子や文房具と交換」をすることができたり、「テスト無し」の権利を得るといった様々な特典を獲得することができます。子ども達には、ゲーム感覚でこの特典獲得の「お小遣い稼ぎ」に精を出してもらいつつ、日本語の学習にも精を出してもらっています。

ご家庭でのサポートもしっかりと定着をしており、子ども達の意欲的な学習の取り組みもあって、予定通り授業を進めることができています。最終学期となりましたが、最後の校内発表会に向けて、「たんぽぽ組」一丸となって最後まで駆け抜けていこうと思います。全ての行事を支えてくださっている学校役員の皆さま、頼もしく、逞しい子ども達と保護者の皆さまには感謝の気持ちで一杯です。

(担任:行武敦子)



JCS日本語学校エッジクリフ校 JCS Japanese School Edgecliff

学校 Ascham School (188 New South Head Road, Edgecliff NSW 2027)

連絡先 PO Box 1171, Potts Point NSW 1335 電話 0413-430-726 (授業日13:30-17:00) 授業 毎週土曜日 / 14:00~16:35

Email jcs.edgecliff@gmail.com Web <http://edgecliff.japanclubofsydney.org>

クラス紹介:かしわ組

かしわ組は4歳から6歳前後で構成された合計13人のクラスです。一番年齢層が若いクラスでもあるため、ボランティアの皆さんのきめ細かなサポートに支えられながら授業を行っています。



子どもたちは日本語に触れるだけでなく、お友達との関わり方や日本語学校のルールを学びながら、毎週元気いっぱい過ごしています。かしわ組では授業中きれいに座っていたり、歌を大きな声で歌えたりした生徒は「チャンピオン」です。「チャンピオンは誰かな?」と聞くとスッと背筋が伸びてみんなチャンピオンになってくれます。

3学期は、ひらがな学習や季節の歌と工作に取り組み、学期末には運動会で様々な競技に参加しました。ひらがな学習では、あ行からな行の復習を行いました。あいうえおカードを使って50音順に並び替えをしたり、名前を正しく書く練習をしてから名札を作ったりしました。名札はそれぞれの好きな色や絵で飾り付けされていて、自分の座席の目印にもなっています。



季節の歌や工作づくりも子どもたちの楽しみの一つです。授業で紹介した童謡「春が来た」を特に気に入ったようで、自ら口ずさんでいる様子も見られました。工作では、海の日になんで色紙を使ったくらげの製作や、童謡「チューリップ」に合わせて折り紙のチューリップ



づくりを楽しみました。まだ長時間集中するのは難しい年齢ですが、工作の時間はこだわりを持って最後まで妥協せず、集中力を発揮して取り組む生徒も多いです。

また、学期末の運動会では、親子二人三脚やサイコロリレー、玉入れなど精一杯競技に参加している姿をみることができました。競技中以外も自分の組を大きな声で応援していて、エネルギー溢れるとても良い運動会となりました。先生方や以前からサポートいただいているボランティアの方々からも、昨年の運動会の頃よりも格段に成長していた、より長い時間集中して頑張っていたと伺いました。閉会式で先生からの「楽しかったですか?」という問いかけに、子どもたちがいち早く大きな声で「楽しかった!」と答えるのを聞いた時はとても嬉しかったです。

これから始まる4学期は一年間の集大成でもあります。



3学期半ばから行っていた、クラス内でのレベルに合わせたグループ分けを活用していきます。ひらがなの読み書き、知っている語彙を増やす、カタカナにチャレンジするなど、それぞれに合ったできることを増やすことを目標に取り組んでいきます。何よりも、日本語の学習を楽しんでもらえるよう、季節行事や歌など様々な日本文化に触れる機会をこれからも届けていきたいです。

(文章:今若ゆうこ)

祭りのボランティア募集中！

日本の祭りで、JCSのブースの運営をお手伝いできるボランティアを募集しています。

募集条件: 18歳以上の方で、12月6日(日) 9:00～18:00に参加できる方(休憩時間あり、昼食支給)

活動内容: 金魚すくいとヨーヨー釣りの手伝い、ブースの設営サポート、お客様の対応など。

無給のボランティア募集です。

応募はメールで volunteer@jcs.org.au まで。



MATSURI

JAPAN FESTIVAL SYDNEY 2026



CELEBRATING 50 YEARS OF JAPAN-AUSTRALIA FRIENDSHIP



TICKETS

Online Adult Ticket **\$15**

Adult 17+ **\$20** | Child 5–16 **\$5** | Children 4 and under **Free**

Family Pass (2 Adults + 2 Children aged 5–16) **\$40**

Seniors Card Holder, Health Care Card Holder, Concession Card Holder **\$5**

Companion Card Holder **Free**

Free entry when wearing Japanese attire or cosplay



RAFFLE DRAW

JAPAN AIRLINES GRAND PRIZE

AN ECONOMY CLASS RETURN TICKET FROM SYDNEY TO TOKYO WITH JAPAN AIRLINES.

Japanese HERITAGE NIGHT

がんばれ, Blue Sox GANBARE, BLUE SOX
Celebrating Japanese culture together!

**JAPAN × AUSTRALIA
BASEBALL BRINGS
US TOGETHER!**

Fri 4 Dec 2026 | **Blacktown International Sportspark**
Eastern Rd, Rooty Hill NSW

GATE OPEN AT 6PM

WADAIKO Rindo
Feel the powerful beats of Japan!

REN YANO
Live Japanese Calligraphy

Naoko Murata
Japanese National Anthem

Sydney SAKURA KIDS Cheerleaders
Get the game started with high energy!

Bon Odori with Junko
Join us and dance with Umbrella!

INTER-INNING JAPANESE CULTURE CHALLENGES!

MATCHA WHISKING CHALLENGE!
Which team can make the best matcha? Cheer for your team!

KIMONO DRESSING RELAY!
Put on a kimono or haori, strike a pose and race to the finish!

JAPANESE FESTIVAL GAMES!
Try traditional Japanese games and join the fun!

Sydney BlueSox VS Perth Heat

TICKETS
sydneybluesox.com.au

Special group and community ticket options available. Contact us for more details.

JCS会長10月の活動日記

○墨絵のグループ展「The Art of Sumi」を鑑賞

10月5日(日)に、パルメイソンのウォッチハウスにて開催されていた墨絵のグループ展「The Art of Sumi」を鑑賞させていただきました。10月のロングウィークエンドの2日から4日間に渡り開催され、最終日(レイバー・デイ)の5日に行く機会を見つけ訪問することができました。JCS会員であるチョーカーさん、ピラスさん、長島さん、間弓さんらの作品など24人のアーティストらが描いた日本の伝統的な技法とオーストラリアからの影響が融合した作品の数々を楽しむことができました。



チョーカー和子さんの墨絵の前で、高橋未来副領事と。



ピラス康子さんの墨絵の前で、本人、そして高橋副領事と

○「第四回日本語スピーチフェスティバル」に出席

10月10日(土)に、豪州繫生語研究会とJCSが共催し、国際交流基金シドニー日本文化センター、紀伊國屋書店シドニー店、ニューサウスウェールズ大学の後援で、国際交流基金シドニー日本文化センターを会場として行われた第4回日本語スピーチフェスティバルにJCS日本語学校3校から9人の生徒が出場し、素晴らしいスピーチを披露してくれました。

- 佐藤美和子さん(シティ校)「動物にも『ことば』がある？」
- 米澤美雅さん(ダundas校)「私と日本語」
- カルディス・ハイラム君(エッジクリフ校)『遠慮の塊』の長い歴史」
- 丸山丈一朗君(エッジクリフ校)「金継ぎ」
- 根岸優衣さん(ダundas校)「多言語を使うということ」
- 長谷川ユキさん(シティ校)「日本の好きなところ」
- ワトソン美杏さん(シティ校)「私の大切な時間」
- ハリス徳仁君(シティ校)「理想の私」
- 勝田新戸君(シティ校)「私の尊敬する人」

コストロ久恵理事を含むJCS日本語学校3校の関係者も出席し、生徒らの熱弁に耳を傾けました。



○「H&H Lawyers」30周年記念晩餐会に参加

10月15日、「JCSだより」のコラム『法律Q&A 弁護士に聞いてみよう』を寄稿して下さっている当クラブの長年の会員である林由紀夫氏の弁護士事務所「H&H Lawyers」の30周年を祝う記念晩餐会がMuseum of Contemporary Art Australiaにて開催され、「JCSだより」元編集長をされていた林藤子夫人、飯島浩樹 JCS親睦の会会長と共に、集った皆様と一緒に祝いをさせていただきました。



林弁護士事務所30周年の席で、林夫妻、飯島親睦の会会長、田代有三氏と。

○「Chatswood 2060 Launch Event」に出席

10月21日(水)、シドニー北部の中心の街であり、JCSがこれまで祭りを行っているチャッツウッドの24年後である2060年を見越した姿を語るイベントに参列し、いかにこの街がこの先変わっていくのかを、山中総領事と共に確認させていただきました。



Chatswood 2060イベントの会場で、山中総領事、Councillor Michelle Chuang氏と。

○裏千家の「Japanese Tea Ceremony」の席に参加

10月25日(日)にBondi JunctionのMill Hill Community Hallにて開かれた裏千家シドニー支部「淡交会」主催の春の茶会「Japanese Tea Ceremony」に、チョーカー和子相談役とともに招待を受け、美味しい一服を堪能させていただきました。



(上)茶席全景。
(下) Robert Kok & 美穂子シドニー市議ご夫妻、チョーカー和子相談役と。



スピーチフェスティバルでの全体写真



佐藤至子

134回 最後はどうなるのか

鉛筆を使い始めた小学生の頃、これを使い続けると最後はどうなるのか、という疑問を持った。言い換えれば、鉛筆の最後を見届けたい、ということである。

鉛筆は使っているうちに芯が丸くなる。鉛筆削りで削ってとがらせて、また使う。鉛筆はだんだん短くなる。鉛筆ホルダーを付けて使い続けるが、次第に、ホルダーを付けることもできないくらいに短くなる。

ふつうはここで鉛筆を処分するのかもしれない。だが、鉛筆の最後を見届けるにはその先まで行かなければならない。私は父親に相談し、強力接着剤を使って短い鉛筆どうしをくっつけた。長くなった鉛筆は使いやすくなってさらに使い続けることができた。

そしてついにその日がやってきた。鉛筆と鉛筆を接着したその継ぎ目の部分まで、鉛筆を削ることになったのである。よほどがっちりくっついていたのである。鉛筆削りの刃が継ぎ目にかかっても、鉛筆がそこで折れることはなかった。こうして、ほぼ最後まで鉛筆を使い尽くすことができたのだった。



すると次の疑問が浮かんだ。

消しゴムは使い続けるとどうなるのだろうか。はじめは四角い(直方体の)消しゴムは、使ううちにカドが丸くなってゆく。だんだん小さくなり、買った時に付いていた紙のケースも不要になった。そして、わりとあっけなく最後の日がやってきた。きわめて小さくなった消しゴムの本体は、消しカスに混ざって、その姿を消していったのである。

ものごとの最後に関心を寄せる、ということが子供ならではの好奇心だったのか、私の個人的な思考の癖なのかはよくわからない。ただ、学生になって江戸時代後期(19世紀)に書かれた百科事典『近世風俗志(守貞謄稿)』を岩波文庫で読んだとき、「灰買ひ」という商売があったことを知り、興味を引かれた。

灰買いは、かまどの下の灰を買い取る商売である。『日本大百科全書』の「灰」の項目によれば、灰は肥料として使われることが多かったという。何かを燃やした後に残る灰。しかしそれは最後の姿ではなかった。肥料になった灰は農作物が成長する助けとなる。この循環に「最後」はないのだった。

私のドリームホーム ②7



ビルダーのセットアップが始まった丁度その時、水を使用していないにもかかわらず我が家のウォーターメーターがグルグル回っています。どこかに水漏れがあるようですが見つかりません。ただしホットウォータータンクが音を立てているのを見つけただけです。素人考えでその音はタンク内の水をガスで温めているのではないかと想像しただけです。取り急ぎ水道局に電話をし、水道の元栓を閉めることになりました。もちろん閉める前には大きな洗面器2つに水を張ることも忘れません。いつものことながら金曜日の夕方発覚したので週末は水なしで頑張らなければなりません。

週末にはホットウォータータンクではなく瞬間湯沸かし器の給湯器が良いのではないかと2カ所ほど見て回りました。どちらもホールセールなので小売りはせずプラマーを通しての購入ということが解りました。そんな風にして週末を過ごした日曜日の夜、「明日はお天気も良いから洗濯をしたい」と、水の元栓を開けなくてはならないという話を夫としていたら、突然ホットウォータータンクに栓が取り付けられているのであれば、タンクの元栓を閉め、水道の元栓を開ければよいのではないかと気が付きました。もちろんすべては朝起きてからです。

朝一番でしたことは、新しくパイプを敷いてもらったドロドロの場所を横切り、ホットウォータータンクに元栓があるか確かめ元栓が見つければそれを閉めることです。元栓が見つかった時の喜びと言ったらありません。なんでこれに気が付かなかったのでしょうか。さていよいよ水道の元栓を開けます。どうやら水漏れはないようです。メーターは微塵も動きません。こうして洗濯もでき、お湯はないけれども水が使用できるようになりました。次に私達がしたことは数件のプラマーに給湯器を取り付ける見積もりを出してもらうことです。家のリノベーションはちっとも進まないのに家はどんどんメンテナンスを必要としています。(マイホーム)



ザ・ホエール(原題: The Whale)

監督:ダーレン・アロノフスキー

ジャンル:ヒューマンドラマ

出演:ブレンダン・フレイザー、セイディー・シンク

●作品概要

重度の肥満を抱える主人公のチャーリーは、アメリカの田舎町で、外見を隠しながらオンライン授業をしている英語教師。自身の死期が近いことを悟った彼は、長年疎遠になっていた10代の娘エリーとの関係を修復しようと試みます。残された時間の中で、トラブルを抱える娘と真摯に向き合い、一筋の光に自分の最後を託す男性の物語です。

感想① この映画を選んだのは、日本のレビューサイトにて、「肥満の人に対する見方が変わる」と謳われていたから。朝6時からカフェがオープンし、毎日のように誰かしらジョギングしている人とすれ違う「健康」を体現するシドニーに暮らしている私の大敵、「肥満」に対する見方がどう変わるんだろうと興味津々で見始めました。レビューは的外れ、そんな生ぬるいものではなかった。肥満はとてつもなく深い闇として表現されていました。食べることができなくなるほどの精神的な病を抱えて死に至った最愛の人の対極をとって、食べ過ぎることによって死を迎えようとするこの主人公。時々流れてくる大統領選の実況が、閉塞感の絶えないこの状況がアメリカの田舎の狭い村社会の現実であることを示唆していました。愛する娘を信じてやまない主人公が見る光に、娘へ

の希望が表現されている一方、時々右隅に表示されていた曜日によって、それがこの主人公の最後であることが暗示されていました。

普段シリアスな映画を見るとものの10分で寝てしまう主人が、主演男性はこの映画の名演でアカデミー賞を受賞した、彼にとっての大きなカムバック作品だと興奮気味に教えてくれました。秀逸な演技がアメリカの闇を鮮明に突きつけるダークで悲しい作品でした。

(★★★★★ ゆき)

感想② 主人公チャーリーを演じるブレンダン・フレイザーがすばらしい演技をしている。第95回アカデミー賞主演男優賞を受賞したのはまさに納得だ。見ていて辛くなるような場面がたくさんあり、とても悲しいお話で涙なしでは見られないが、最後には希望を感じることができる作品だ。自分の力だけではトイレに歩いて行くこともできなかったチャーリーが、エリーのエッセイを聞きながら最後の力を振り絞って立ち上がった場面は鳥肌モノだった。個人的に一番気になったのが、どうやってあの272キロの巨大な肥満体を再現できたのか、ということ。特殊メイクを施したということだが、すごくリアルだった。シャワーを浴びるために半裸になるシーンもあるが、顔だけでなく体も272キロという肥満体を再現できていて、驚くほどのリアル感があった。映画ってすごい！

(★★★★★ ケーエム)

感想③ ブレンダンは、私が若かりし頃に胸をときめかせていた俳優の一人だった。1998年の『ゴッズ・アンド・モンスターズ』で美形の庭師を見事に演じきり、『ジャンル・ジョージ』や『ハムナプトラ』シリーズなどの大作で大スターの座を獲得したかのように見えた彼。しかし、2000年代以降はなぜか表舞台から姿を消してしまった。のちに、それが性的ハラスメントの被害によるうつ状態が原因で、第一線から遠ざかっていたためだと知った。前置きが長くなったが、そんな彼のリバイバル作として期待を寄せていたのが本作である。かつて美形で売っていた彼が、今回は余命わずかな病的肥満の男を演じる。特殊メイクを施してはいるものの、昔と変わらない彼の圧倒的な存在感と演技力をしっかりと肌で感じる事ができた。「座礁したクジラ(Beached Whale)」という言葉の思い出さずにいられない作品だが、主人公チャーリーに重なるこのメタファーには、彼の肉体的な状況だけでなく、精神的な孤立や絶望、そして生命の限界を象徴する、何重もの意味を込めることができるように思う。元は舞台の脚本ということもあり、圧倒的な密室劇の没入感に引き込まれる秀作だ。

(★★★★★ かっちゃん)



大きな声では 言えない話



実は、何を隠そう、私は詐欺にあったことがある。コロナパンデミックが始まる前年2019年。娘がHSC(NSWの高校卒業兼大学入学試験)を控えている大事な年だった。今では自宅の固定電話は電話がかかってきても出ないのだが、その当時はかかってくれば出ていた。

あるとき電話に出ると、今日から3日間、防犯対策のためインターネットが使えなくなるという。私は、当時Y12の娘が大きな課題の提出を二日後に控えてテンパっていたのを知っていたので、とっさに「それは困る!」と言った。すると、電話の向こうの女性は、やさしく言うではないか。「だいじょうぶですよ。インターネットが必要な方には対処できます。では、コンピューターのスイッチをオンにしてください。」今思えば、そんなこと、怪しい以外の何物でもないのだが…。その時は「娘の課題のため

になんとかしないと…」と気が焦って、普段の思考が完全に停止していた。そして、その電話の女性の誘導のまま、私は、コンピューターにいろいろな文字を入れていった…。その後「ご主人とも話したいので、お帰りになるころにまたお電話します」と言われ、電話は切れた。

私は、ずいぶんいろいろな文字を打たされて、質問されたなあとか思って、ダンナに「今日こういう電話があったんだけど、7時ごろ帰るよね?」と電話すると、ダンナに言われた。「それ、詐欺だよ」「え?」ガーン! 今までブロックされていた思考が急に戻ってきて、自分が詐欺にあったことに気がついた。この後すぐに家族会議をすることに。家族に事情を説明し、パスワードを変更し、コンピューター内の掃除を依頼し、詐欺に関してレポートをして…。金銭的な被害はなかったのだが、いやいや本当に大変な一日だった。その後しばらくずっと娘たちから、「A' for apple, 'U' for umbrella…」などと、私が電話の女性に言われて文字を打ったときのことをからかわれていた。あ〜あ…。冷静に考えれば怪しいと思うことでも、タイミングや状況によって冷静さを失ってしまうこともある。みなさんも気をつけてください! (ケーエム)

イチオシ! YouTube

せいやんアニメ

<https://www.youtube.com/@seiyananime5/>

バカバカしいテーマを真面目に、屁理屈でなんとかやり込めようと、必死に議論しあう姿が実に微笑ましいというか、「あほやなあ!」というか、まあ気分転換にたまに見ている動画です。

テーマの「最も信じられない“明日からやる”は何か?」とか、「一番いらん曜日はいつか?」「集合時間には何分前に行くべきか?」など、いちいち納得の議論なの



で、ついつい答えが気になって最後まで見てしまいます。ストレス解消にどうぞ!(却ってストレスになったり…)



ワインの話

「ワインの話」では、リーズナブルなプライスでありながら、クオリティの高いオーストラリアのワインを紹介します。

Philip Shaw The Gardener Pinot Gris 2025
★★★★☆

Philip ShawはNSW州Orangeに立地する家族経営のワイナリーで47haの面積を持つ。標高900mの土地は涼しく、

ワインを作るのに最適だという。

1988年に自分のワイナリーを始めた彼はPenfoldsやLindmans、Rosemountなどの経験を持ち、さすがそこで生み出されるワインは土地の性質をしっかりと読み取り、クオリティが高い。現在は息子たちが引き継いでいるが他のブドウも含めて素晴らしいワインを作り続けている。

ジューシーでありながらコクがあるPinot Grisはしっかりと味わって楽しみたい。





ここが気になる

2026年のノーベル化学賞は、一世紀にわたる化学の謎を解明した東京理科大の碓合憲三(そあい けんそう)名誉教授らに贈られることになりました。授賞理由は「不斉有機合成における非線形効果と自己触媒反応の発



見」。分子のわずかな「左右差」が化学反応によって大きく増幅される仕組みを解明した功績が評価されました。

私は、この発見を理解したくて何度も色々なサイトを見ましたが私には難しすぎて分かりにくい。なんとか簡単に説明をすると? ①生命の起源に迫る研究、②薬の開発に役立つ、というので良いのでしょうか? ここが気になります。

100年の間わからなかった謎を解明し、「soai反応」と名付けられ、医薬品製造のための反応の研究をする科学者にとって決定的なものとなったと、ノーベル化学賞を受賞。世界的な日本人の活躍が今年も見れて嬉しいですね。どなたか?この解明に詳しい方は、教えて下さい。

日本の踊りのワークショップを開催

日豪友好基本条約署名50周年を記念し、日本の踊りを体験できるワークショップが2つ(各45分間)、11月22日(日)にノースシドニーコミュニティセンターで開催されます。

第一部は、500年以上の歴史を持つ盆踊りを学ぶセッションで、福岡県の「炭坑節」などを練習します。第二部は、日本舞踊の動きを取り入れたやさしいエクササイズ。伝統楽器の胡弓などの音色に合わせて体を動かし、健康づくりにもつながります。

ワークショップには、年齢や経験を問わずどなたでも参加できます。

第一部は午後2時、第二部は午後3時からです。料金は各35ドルです。

詳細・申し込み:

<https://www.northsydneycentre.com.au/product-category/whats-on/letu2019s-connect-and-experience-japan-through-dance/>



スポーツ天国 No.201

The 2026 Australian Championship

10月15日から12月13日にかけて、サッカー・オーストラリアン・チャンピオンシップが開催されています。

参加しているのは、Aリーグの下部にあたる各州のトップチームによる大会で、16のチームを4つのグループに分けて勝者がトーナメントに進みます。

この大会には多くの日本人選手がプレーしており、Round 1で、サウス・メルボルンFCの内田優希選手と、サ

ザランド・シャークスFCの横川旦陽選手が対決、勝負を制したのはアウェーで1-0勝利を収めたサウス・メルボルンFCでした。

試合の様子は「SBS On Demand」およびYouTubeにてライブ配信されます。(ぴか)

会員の皆さんからの情報も受け付けています。Eメールは、kenerit@gmail.comです。よろしくお願いします。(ぴか)



総領事館からお願い(在留届の提出)

外国に3か月以上滞在する日本人は、最寄りの大使館や総領事館等に「在留届」を提出することが義務付けられています。大規模な災害が発生した場合など、当館では、オーストラリアの関係当局に連絡を取って邦人の被害について確認をする一方、在留届を確認して該当地域にお住まいの方に、直接ご連絡して安否を確認することがあります。在留届は、このような災害時の安否確認にも使用いたしますので、届出内容に変更(住所や同居家族の変更等)が生じた場合には「変更届」を、帰国の際には「帰国届」をご提出いただくようお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>



バイク おばちゃんが行く！

その6

ピアスやすこ

2025年に訪れた元共産国である東ヨーロッパの旅行記を今年の1月から奇数月に連載しております。今回の旅行はバイクに乗っておりませんが許してくださいね。

ルーマニアとブルガリアを経て、ドナウ川のクルーズ船の次の寄港地はセルビアでした。あまり馴染みのない国ですが、セルビアと言えば一番に思い浮かぶのが、テニス王のノバク・ジョコビッチです。

2022年の全豪オープンで入国の際、コロナ予防接種を受けていなかったことで大騒動になった事件は、まだ記憶に新しいものです。結局、彼はテニスコートに立つことなく、オーストラリア国外退去処分となりました。予防接種を受けるか否かは個人の自由でそれについて私は何も申しません。が、空港で彼が止められホテルに隔離されている時に彼の母親をインタビューした模様がニュースで流れていました。彼女は取り乱して、「オーストラリアはワールドナンバーワンを監獄に入れようとしている！何と云うことだ、ワールドナンバーワンに対して！」と自分の息子を「my son」とは言わず「ワールドナンバーワン」を連呼してオーストラリアを批判。その傲慢に満ちた彼女の言葉に、私はいっぺんにジョコビッチが嫌いになりました。あくまで個人的感想ですので、ファンの皆さまは無視してください、本人は、いい人なのかも知れませんがからね。

観光バスに乗って、とあるテニスコートの横を通った時、ガイドさんが、これはジョコビッチが建てたものだと説明してくれました。



川の側の要塞

ジョコビッチはNovak Djokovic Foundationを設立して、セルビアの貧困地にいくつもの幼稚園を建設し、幼児教育支援や医療支援の慈善活動を精力的に行っています。ガイドさんにジョコビッチはどこに住んで



現役で走っている古めかしい路面電車

いるのかを尋ねると、すぐ側の川を指さして「あの川の向こうに彼のアパートメントがありますが、彼はそこには住んでいません。彼はモナコに住んでいます」とのこと。ああ、そうだったんだ、やっぱりね。モナコはタックスヘイブンの国です。所得税、資産、相続などに税金が課されないため、F1ドライバーを始め、大金を稼ぐスポーツ選手の多くがモナコに住んでいます。因みに2026年の全豪オープンのシングルス優勝者の賞金額は415万豪ドル(約4億4千万円)でした。テニスの場合は開催された国で税金を納めているそうですが、それにしても賞金額が凄すぎて、私は誰かを応援するのも嫌になるほどです(笑)

セルビアが誇るもう一人の人物は、天才発明家のニコラ・テスラです。彼は、現代の電気社会の基盤を築いた人で、イーロン・マスク率いる電気自動車(EV)の名前のテスラは、ここに由来しています。

セルビアに着いて二日目は、ニコラ・テスラ博物館見学ツアーに参加。電気は空中を流れるという実験も体験して大変面白い一日になりました。我々の生活に欠かせない洗濯機や冷蔵庫などの家電製品があるのもテスラのお蔭です。彼は、若い頃、トーマス・エジソンの会社で働いていましたが、エジソンと意見が対立して退社、その後はエジソンの生涯の大敵となりました。

博物館案内のガイドさんは、テスラは握手を頑なに拒み、誰とも握手をしなかったと言っておられました。調べてみると彼は異常な潔癖症であったようです。

セルビアを実際に見て感じたことは、貧しい国だということです。観光客が集まる繁華街でさえ、どこか裏かれた寂しい印象を受けました。ガイドさんが「若者は皆Western Europeに出て行くので若者の人口は減るばかりだ」と嘆いていたのも頷けます。

To be continued...



My Favorite Photo

自分にとって忘れることのできない写真、いつも飾っている思い出の写真、二度と撮れないシャッターチャンスの写真、大好きな人・有名人・尊敬する人との記念の一枚…など、My Favorite Photoを文章とともにお願いします。



秋田県の鶴の湯温泉に行ってきました。東京や京都ではオーバーツーリズムが懸念される一方、地方ではインバウンドを歓迎しているという記事を読み、外国人の方々に日本の田舎を薦めてきました。ところが、私自身は日本の田舎をあまり訪れたことがありません。「どこでもいいから田舎に行きたい！」。

そんな私のために、友人がJR東日本の「どこかにビューーン！」を利用してくれました。貯まったポイントを使って新幹線の行き先候補を4つ選ぶと、1つがJR東日本によって決まる、旅のガチャのようなサービス。行き先に選ばれたのは、紅葉に彩られた秋田。茅葺き屋根やランプ、風車が趣を添える風景、さらに、湯治に訪れる人も多いという温泉のお湯は滑らかで、目にも体にも優しい贅沢な旅でした。

日本の田舎には、こんな素敵な発見が沢山隠れているのだと思います。日本を訪れる際には、是非田舎にも足を運んでみてください。

WSO皆で歌おう！

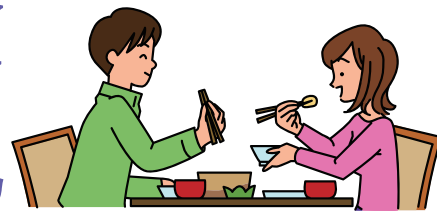
日時：11月7日(土) 12:30～16:30

会場：炉端ジョーンズ2階(8 Wilkes Avenue, Artarmon)

参加費：80ドル(豪華お弁当+ドリンク1杯+歌い放題)

「歌声喫茶」のイメージでボーカリストのNaokoさんとSachiさんのリードのもとに、皆さん一緒に楽しく歌いましょう！事前に3曲選んで申し込んで頂ければゲスト・ボーカリストとしてマイクの前で歌うこともできます。男性・女性ベスト・ボーカリスト賞は観客の拍手の大きさで決まりますのでお友達を大勢誘った人の勝ちです！

外食日記



Fujian Shaxian Snacks

住所：422 Victoria Ave, Chatswood NSW 2067

電話：0493-508-258

予算：\$20

営業時間：毎日：10:30-20:00

雰囲気 6、料理 6、サービス 7



今月はChatswoodにある中華料理屋です。特に福建の料理です。注文したのは、拌面扁肉というセット料理です。拌面はスープのない、醤油・花生醬(ピーナッツペースト)・葱油・酢・辣油などを麺に絡めた混ぜそば。扁肉は、福建・福州式の雲吞に近い料理で、極薄い皮に豚ひき肉を包み、出汁スープに入れます。MとLの2種のサイズがあり、お店の方に聞いてLサイズにしました。

フードコートのように料理ができると音が鳴る機械をもらって席で待ちます。麺は量が多かったです。具はチンゲン菜のみで肉は入っていませんでした。ピーナッツソースの味はそこまで濃くなかったのです。ピーナッツソースの味はそこまですりませんでした。雲吞のスープは、思ったよりも美味しく味がついていて丁度良かったです。雲吞は数が多かったです。具は肉汁があまり感じられず、もう一歩でした。

World Scholarship Organization (WSO)はNPO法人で、バングラデシュの日系孤児院で育った学生とケニアの恵まれない学生を支援するチャリティ団体です。「WSO皆で歌おう！」の収益は全て、医師、歯科医師、看護師、土木技師等を目指す学生達の奨学金の資金となります。

お問い合わせ：山口 nbca.yamaguchi@gmail.com/ 0404-027-407 (<https://wso-au.org>)

EFT: A/C Name: World Scholarship Organization

BSB: 032-006, A/C No: 590343

※送金の際、Referenceにお名前の記入をお願いします。



仏教語からできた 日本語 その242

渡部重信
sydneyhongwanji@gmail.com
浄土真宗本願寺派[西本願寺]
オーストラリア開教事務所長



法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 225

主任弁護士 林由紀夫 (H & H Lawyers)

覚悟(かくご)

最近の世の中を見ていると、世界経済は各地で起こっている争いのため、不確実性を益々加速化している中で、日本では外圧に耐えうる経済体質を作り、持続的な賃金上昇サイクルを継続するためにも、まだまだ内需拡大は重要な指針となっています。外需に頼っていただけでは海外の景気が後退するとそれに巻き込まれてしまいそうな脆弱さがあり、日本人が覚悟を持って国内需要を支えていく姿勢を見せないといけない時代に来ているように感じます。

一方で、かつて「贅沢は敵だ」「欲しがりません、勝つまでは」と一億総覚悟の時代があったこともまだ覚えていらっしゃる方もいるかと思います。しかしそんなことを言っていた国がどうなったかも忘れてはなりません。

一般に「覚悟」と言えば、重大な「決意」や「決心」を意味します。「決死の覚悟」といえば勇ましいですが、逆に時代劇でのセリフで「お覚悟めされい」と言えば諦めの心持ちを示すことになります。しかし仏教でいう「覚悟」は、真理を「さとる」、真理に「目覚める」ことを意味します。覚も悟もどちらも「さとる」という意味を持っていますが、覚は不覚に、悟は迷に対して用います。『涅槃経』には「仏とは、覚と名づく。既に自ら覚悟し、また能く他を覚す」と説いています。覚悟を得た人を「仏」と尊称し、教主と仰ぎ、その教えに随うのが仏教徒です。親鸞が「地獄は一定すみかぞかし」と覚悟したように、今の日本人は上滑りな繁栄に見切りをつける覚悟が必要という人がいます。夏目漱石は「模倣と独立」という有名な講演で親鸞の肉食妻帯に言及し、「親鸞は非常なインデペンデントの人といわなければならぬ。あれだけのことをするには初めからチャンとした、シッカリした根柢がある」と述べ、親鸞を「一方じゃ人間全体の代表者かも知らんが、一方では著しき自己の代表者である」と語っています。

そこで思うことは、私たちが覚悟すべきは「独り来り独り去りて、一(ひとり)として随う者なけん」(『無量寿経』)ということです。人間は本来一人ひとりが独立者でありながら、この世では絶対に独りでは生きられない。生かされて生きているのが人間です。覚悟、覚悟と力むよりも「いのち」の真相に気づくことが更に大事だと言えるでしょう。

古歌に「おのが目の 力で見ると 思うなよ 月の光で 月を見るなり」とある通りです。 合掌

AI導入で仕事がなくなったら？

Q: 約10年間、ある会社で経理担当者として働いています。最近、会計AIが導入され仕事が少なくなってきました。先日、社長から営業職への配置転換を命じられました。給与は現在の60%になりますが、営業目標を達成すればボーナスが支給され、従来と同程度の収入になるとの説明でした。私は営業経験がなく不安です。会社が一方的にこのような変更を命じることは合法でしょうか。また、自分から退職すると解雇手当がもらえなくなるのではないかと心配しています。

A: 結論から申し上げますと、会社が従業員の同意なく、職務内容や給与を大幅に変更することは、原則として認められません。

会社には業務上必要な配置転換を命じる権限がありますが、雇用契約などによる制限があります。今回のように、経理職から経験のない営業職への転換を求め、さらに基本給を40%削減することは、雇用条件の重大な変更当たる可能性があります。営業成績によるボーナスも保証された収入ではありません。会社が正式に解雇を通知しなくても、従業員が退職せざるを得ない状況を作り出した場合、法律上、会社による実質解雇と判断される可能性があります。例えば、今回のように会社が一方的に給与を大幅に減額し、全く異なる職務を強制した結果、従業員が退職したような場合などです。実質解雇として判断された場合には、それは、不当解雇(Unfair Dismissal)となりえ、賠償の対象となります。

また、今回のケースでは、Redundancy(人員整理による解雇)となる可能性もあります。AIの導入によって従来の経理業務が不要になったのであれば、会社はRedundancyとして雇用を終了させることが考えられます。その場合、一定の条件を満たせば、勤続10年以上の従業員には原則として12週間分のRedundancy Pay(整理解雇手当)が支払われます。ただし、小規模事業者などには例外があります。

最も重要なのは、安易に自己都合退職をしないことです。まず、会社新しい雇用条件を書面で提示するように求め、変更不同意旨を伝えることをお勧めします。その上で、従来の雇用条件の維持、または適切なRedundancyによる解決を求めるべきでしょう。なお、解雇に関するFair Work Commissionへの申立期限は、原則として解雇から21日以内です。退職を決断する前に、専門家に相談することを強くお勧めします。

●今月の表紙

『消滅しゆく北極の景色』北極圏・スヴァールバル諸島

突然、水の中から氷の舞台に真打登場！地上最大の肉食動物、食物連鎖の頂点に君臨するホッキョクグマだ。氷に反射する光のスポットライトを浴びて、キラキラと命を輝かしている。唯一の天敵は人間。狩猟だけでなく人類が引き起こした地球温暖化のため、非常に近い将来、氷は消えて無くなる。そして彼らは生きる術を失う。我々は地球に負担をかけない生活を本気で心がける必要があるのだ。



フォトトラベラーYori / ネイチャーフォトグラファー、トラベルライター
photraveller.com Facebook / Instagram @yori.hirokawa

編集後記

▼2年ぶりの里帰り。雨が続いた後の秋晴れに恵まれている日本の10月は美しいです。何を食べても何を見てもそしてどこを見ても綺麗な町。ただし物価が少し値上がりしたかなあという感じはするけれども、オーストラリア・ドルがほんの少し強くなっているの、それほどお金がかさむ気がしていません。▼そして秋の味覚を楽しんでいます。先ずはかぼちゃの煮物、茄子の田楽、そして栗ご飯、果物では柿がおいしい季節です。思わず食べ過ぎてしまう毎日です。▼今回は四国のお遍路さんの続きではなく小旅行で箱根2泊、軽井沢2泊、そして友人を訪ねて仙台に3泊。旅行が楽しめる足腰が丈夫なうちに色々行きたいところを訪ねる予定です。やっぱり日本はいいなあ。(青い鳥)

シドニー日本クラブ役員

名誉会長	在シドニー日本国総領事
相談役	Chalker 和子
会長	渡部 重信
副会長	松隈 由紀子(事務局長兼任)
副会長	水越 有史郎
理事	阿部 直子
理事	斉藤 なお子
理事	Hodgkinson 恭子
理事	堀場 健太
理事	葛西 哲也
理事	林 さゆり
専門理事	飯島 浩樹(親睦の会会長)
専門理事	Murn 薫(編集委員会編集長)
専門理事	Costello 久恵(シティ校代表)
専門理事	たん・みもぞ、烏田朝子(ダンダス校代表)
専門理事	水越 有史郎(教育支援委員会・エッジクリフ校代表)
事務局	松隈 由紀子(事務局長)・Richter 幸子(会計)
監事	岩佐 いずみ(会計監査)・多田 将祐(会計監査)
クラブ代表	シドニーソーラン踊り隊(渡部 重信)
	JCSフラアロハ(Gault 良子)
	ソフトボール部(安達 ^{さだのり} 定儀)
編集委員会	マーン薫(編集長)・渡部重信・水越有史郎
	西牟田佳奈・佐藤 薫・大塚藤子・林由紀夫・多田将祐
	坂口 潤・斉藤なお子・大塚るる・松下友紀

編集から

みなさんの感想をお寄せください！投稿原稿募集！

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んだ感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃感じていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多いに役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。

●送付先(本誌編集長): k.murn@jcs.org.au

原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

JCSだより感想・原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、マーン薫編集長宛に、またはJCS事務局宛に、Email(k.murn@jcs.org.au)か郵送にてお送りください。

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 電話:0421-776-052(9時~18時)
Email:jcs@japanclubofsydney.org(松隈由紀子)まで。

会員特典

JCSの会員の皆さんが受けられる特典です。
ぜひ、ご利用ください。

日本ブレンセンターオーストラリア (NBCA)

Suite 23, 9 Milray Street, Lindfield 2070

Phone: 0404-027-407

Email: nbca.yamaguchi@gmail.com

www.nbca.com.au

担当: 人材 加藤、翻訳 山口

移民局に提出する戸籍謄本と書類の英語への翻訳をJCSの会員の皆様には20%割引で承っております。長期短期の人材紹介及び人材登録をきめ細かくお世話させていただいております。皆様のご連絡をお待ちしております。

甘利会計事務所

Amari Tax & Accounting

Suite 2, Level 2, 88 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9223-7448

Email: info@taxjp.com.au

新規顧客に特典

JCS会員の皆様のタックス・リターン申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

ほんだらけフル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool Street, Sydney 2000

Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com

Website: http://fullofbooks.com.au

シドニー最大の日本古書籍買取・販売店。海外にいても手軽に日本の本・CDなど選べる嬉しい店内在庫8万点をご用意しています。買い取りも随時受付中。

JCS会員の方へは、本・CD・DVDのお買い上げを5%特別割引致します。JCS年会費支払いのコピーをご提示下さい。（セール商品や化粧品など一部除きます、ご了承ください）

本誌広告案内

広告締切は毎月15日です。広告データ（掲載できるアートワーク）を、メールで、jcs@japanclubofsydney.org まで送付ください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6～11ヵ月)	会員割引料金 (12ヵ月以上)
1 ページ	横18cm×縦27.0cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00 (月額)	\$ 132.00 (月額)
1 / 2 ページ	横18cm×縦13.2cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00 (月額)	\$ 77.00 (月額)
1 / 3 ページ	横18cm×縦8.6cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00 (月額)	\$ 55.00 (月額)
1 / 6 ページ	横8.7cm×縦8.6cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50 (月額)	\$ 33.00 (月額)

広告を申し込む際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、完成された広告データ（正しい広告サイズで、読みやすく仕上がったアートワーク）を、事務局宛にメールでお送りください。銀行振込は以下の口座宛にお振り込みください。締切は毎月15日必着です。

※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。

※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

会費納入 料金 支払方法

■会費納入届または広告原稿を小切手と共にJCS事務局まで郵送する場合

小切手の宛名は「Japan Club of Sydney Inc.」をお願いいたします。

郵送先: Japan Club of Sydney, PO BOX 1690, Chatswood, NSW, 2057

■会費納入届または広告原稿をメールで送り、会費を銀行振込する場合

振込時に、登録会員名（フルネーム）と電話番号をDescription／Reference欄に必ず入力して下さい。

お名前がない場合は、支払い元不明で未払い扱いになるためご注意ください。

振込先 Account Name: Japan Club of Sydney Inc. BSB No: 032-002 Account No: 51-3156

■会費納入届をオンラインでする場合 → <https://forms.gle/AD7bG13tdPCs2SJB8>

会員継続の場合は、会費納入届を
提出してください。
オンラインの場合は **こちら**